

練馬区で初 ショート専用施設 アズハイムテラスが開設



練馬区初のショート専用施設「アズハイムテラス」が1日オープンした。全室個室の20室の短期入所に定員40人の通所介護を併設。区内では絶対的にショートステイが不足しており、予約は順調だ。12月には7割の稼働を見込むという。

練馬区初のショート専用施設「アズハイムテラス」が1日オープンした。全室個室の20室の短期入所に定員40人の通所介護を併設。区内では絶対的にショートステイが不足しており、予約は順調だ。12月には7割の稼働を見込むという。

初期投資抑えスピード開設

長野市の有料ホーム ミモザかわい

公園通り(長野市、藤丸昭彦代表取締役)は1日、住宅型有料老人ホーム「ケアハウスMIMOSAかわい」を開設した。

JR長野駅から車で15分ほどの住宅地にある。入居定員は14人。平屋建てで地域の住宅に溶け込むような外観だ。

「目指すのはごく普通の生活。地域に開かれた住まいでありたい」と藤丸社長。昨年12月から市内で開設し2カ月で満室になった。デイサービス併設のサービスタワー付き高層住宅「MIMOSA若槻」から変わらぬ方針だ。市内では既に宅幼老所は飽和状態、競争が厳しくなっているが、病院から退院しても自宅では暮らせない高齢者などは増えているという。



住宅街に溶け込む外観

短期間で2カ所の事業を開設できたのは、いずれもパナホームの「ケアリンクシステム」を活用したことが大きい。ケアリンクシステムは地主が建物を建設し、パナホーム不動産が一括借り上げしサービス事業者にサブリースする仕組み。熱意はあるが建設費用の捻出が難しい小規模な介護事業所でも居住系サービスを展開しやすい。

藤丸社長は「MIMOSA若槻での利用者・ご家族様の評価も、今回の2棟目の入居者紹介に大きく貢献している。介護する、というより『寄り添う』お手伝いさせていたたく」という気持ちを持ち続けた」と話す。

利用料金は家賃(5万5千円)6万円、食費(5万円)、共益費(3万円)など13万5千円から。026・214・8858。

「介護ロボット」でセミナー オートマより「人の支援」

浜松市商工会

浜松商工会議所は5日、「ロボット技術の介護装置への応用と介護現場の活用」と題したセミナーを開催し、実用化に向けての課題を探った。

ススキやヤマハなど大手「共生リサーチセンター」の

適切な利用を進めるため、介護食メーカー19社は10日、「日本メデイカルニュートリション協議会(会長川口晋二)ニュートリ代表取締役社長」を設立した。市場規模が1500億円を越え拡大するなか、適正な利用の基盤づくりをするのが狙い。現在は基準のない治療食や介護食の表示などの情報提供や販売方法について、自主基準の制定や啓発・普及活動を行う。川口会長は設立会見で「医療・介護従事者へいかに正確に情報を提示するかについて、何ができるか、から取り組んでいく」と話した。対象とするのは、介護食などどうたわれている冷凍食品、レトルト食品、濃厚流動食、トロミ剤など広範な食品だ。メーカー各社が販売してきたため規格が統一されておらず、消費者が比較して選択しにくいのが実情だ。例えば栄養成分表示ではkcal、ml、商品個当たりとばらばら。とろみ調整品では粘度の違いが比較して分かるようにしてほしいという施設の意見も多かった。



川口会長

会場からは実用化にあたって安全基準に関する質問も多く挙がった。木佐保良は「掃除ロボットで日本のメーカーが出遅れたのは、安全基準がなかったから。同じことにならないよう、生活支援ロボットについて国際標準規格のISOで製している福祉用具への意見・アイデアの収集コーナーの集計結果をまとめた。3年間で寄せられた意見・アイデアは460件。現場からの生の声を、製品開発に役立ててもらいたいという。厚生労働省の委託を受けた意見は用具の利用者や介助者から寄せられた具体的なものばかり。

「落としたものを拾える車いす(座面昇降機能など)」、「電動車いすのジョイスティックの操作しやすい高さへの調整機能」、「折りたたんで外出先でも使える手すり」など、寄せられた意見は用具の利用者や介助者から寄せられた具体的なものばかり。

パワーアシストにより、少ない力で全方向に移動させることができる。隣接する病院と共同で研究が進められ、今後実用化に向けてさらに検証を行う予定だという。

「産業ロボットの発想でオートメーション化を目指すが、介護は人がいてこそ。リモコン操作ではなく、ベッドを扱う人をアシストするという視点が福祉の分野では求められる」と話す。

「産業ロボットの発想でオートメーション化を目指すが、介護は人がいてこそ。リモコン操作ではなく、ベッドを扱う人をアシストするという視点が福祉の分野では求められる」と話す。

「産業ロボットの発想でオートメーション化を目指すが、介護は人がいてこそ。リモコン操作ではなく、ベッドを扱う人をアシストするという視点が福祉の分野では求められる」と話す。